

振り返るあの瞬間！

「新しい市長は、今の行政が進めていることに拘束されない」

2020年9月から11月までの2か月間取り組まれた住民投票条例制定の署名運動。街頭に立ち、ご近所を回りと市民と野党が共同で取り組んだ20万筆の署名は、193,193筆と確認され市長に住民投票条例を議会に出させる力となり臨時議会が開会された。

2021年(令和3年)第1回臨時会(1月6日)



本会議場で、条例制定の質疑に立つみわ

市第100号議案「横浜市におけるカジノを含む統合型リゾート施設（IR）誘致についての住民投票に関する条例の制定」の質疑

みわ智恵美 夏の市長選挙は林市長が出馬かどうかにかかわらず、その結果は市民の手にゆだねられています。選挙でIR誘致反対の市長が選ばれた場合に、現市長のIR誘致の行政判断に拘束されるかどうか伺います。

林市長 新しい市長は、現市長の判断に拘束されるかについてですが、その時に付託を受けた市長が、議員の皆様と議論しながら、それまでの経緯を含めて適切に判断していくものと考えています。

みわ智恵美 新しい市長が、今の行政が進めていることに拘束されないということが確認できました。

1月8日の採決では、賛成34、反対51で条例制定議案は否決された。(議場騒然)

そして7月の市長選挙へ！



国際園芸博覧会協会での意見書を提出 2022.8.24

党議員団は、8月24日、区と旭区にまたがる旧一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会「国際園芸博覧会基本計画案」に対する意見を提出し申し入れを行った。2027年3月から9月までの半年間、瀬谷

区と旭区にまたがる旧上瀬谷通信施設で開催される花博。限りある地球環境の持続という人類共通の目的に軸を移した環境社会の大きな転換の中にあるとの認識のもと開催されよう

とされている。この花博には現在市民からの多くの不安や心配の声と開催自体に反対する声が寄せられている。当地が軍事基地として長年にわたり土地利用が制限されてきたことで農地や緩やかな起伏の草地など豊かな自然環境が残されていることから、開催によって貴重な自然が失われ、生態系が破壊されてしまうという懸念だ。また、過大な公的負担への批判

0億円と見積もっている。党議員団は、11項目にわたる意見を提出した。1、有料入場者数は、大幅に減ずることを検討すること。2、会場建設費を32億削減すること。残りの意見は党市議員団ホームページをご覧いただくか、党市議員団にお問い合わせください。

2027 国際園芸博覧会(花博)は市民が良かったと思える花博に

こんにちは 89号

日本共産党 横浜市議員

みわ智恵美です

横浜市港南区上大岡西1-19-201301
困ったときは(みわ智恵美事務所)
045(844)3635



ブログ Twitter 見てください

mail@miwa-chiemiji.jp



花博会場現地調査。高橋千鶴子衆院議員と。

るが、動植物の重要な種をはじめ、生態系を保全するための環境保全措置として、現状の地形等をいかした会場づくりに取り組み、その後の公園にも生かされるように計画し、建設費については大幅に見直し削減すること。

第3木曜日無料法律相談

予約はみわ智恵美事務所へ 次回の予定は
緊急対応もします

浅川壽一弁護士
(横浜合同法律事務所)

10月20日
11月17日